

「第2期 飛騨市総合政策指針」パブリックコメント意見に対する対応

<実施> 2/14～3/13

<方法> 市ホームページ公開（無線放送、区長回覧での周知）

<意見> 4名から8案件の意見（下記の通り）

NO	担当課	内容	指針該当ページ	意見・提案・質問	市の考え方	対応（案）
1	総合政策課	全体	全体	冒頭に解説いただいたように、人口が減少していく未来は避けられません。どのような事業、取り組みであっても人手不足による問題は解消できません。新しい取り組みも既存の取り組みも“やめること”を恐れないでいただきたいと思ます。残すことだけが正解ではないと思ます。 飛騨市として持続可能なまちづくりを目指すのであれば、何を残して、何を諦めるのかの判断も行なっていただければと思ます。	ご指摘の通り、特に公共施設等の管理運営の中で“やめること”は不可避な状況であり、本指針で定める基本方針に基づき、持続可能なまちづくりを目指し取り組んでいきます。 一方で、施設や施策によっては、市民生活に大きな影響を及ぼすデリケートな面もあり、市民の声を丁寧に拾いながら取り組んでいきます。	②計画には反映しませんが、計画推進へのご提案として参考にさせていただきます
2	神岡振興事務所	神岡研究支援	57	2027年稼働予定のハイパーカミオカンデにて 据え付け作業のため約100人の研究者が滞在すると聞いています。またそれ以降も滞在する研究者がいるものと思われまますので「これらの滞在者を移住者にする支援を行う」ことを追加願います。 具体的には（1）短期滞行者（1～10年）の居住支援（空家紹介、生活情報提供、超短期バイト情報「Timee/タイミーなど」の提供）（2）2拠点生活者への居住支援 も願います。	市としても認識しており、支援策等検討を行っているところです。ご提案いただきました具体施策についても毎年の予算編成の中で検討していきます。 一方で、指針中では、P57の移住施策ではなく、P73の「鉱山等の活用など…飛騨市特有の地域資源を活用したまちづくりの拡大の推進」の中に含んでいるという認識で移住施策の中には掲載しません。	②計画には反映しませんが、計画推進へのご提案として参考にさせていただきます
3	商工課	KPI	75	「飛騨市就職奨励金を活用した地元企業就職者の数」の令和5年度実績・目標というのは技能実習生を含めた数ですか？ 私は、技能実習生に対する就職奨励金制度に反対します。 日本語の習得が未熟な技能実習生は、そもそも制度の理解ができません。自分で必要書類を集め、自分で提出することはとても難しいことです。 結局は企業の人が「実習生に説明し、代わりに書類を準備し、申請する」必要があり、手間と時間がかかります。その割に企業にメリットはありません。 技能実習生は、飛騨市にずっと住みたいから飛騨市を選んで来ている訳ではない人が大半です。数年経てば、帰国や転職で飛騨市から転出する場合があります。 奨励金の説明では「経済的支援を目的に奨励金を交付することで、飛騨市での就労や実習等に対して好印象を与え就業地として選んでもらえるようにします。」とありますが、果たして年1万円の支給で飛騨市に好印象を持つでしょうか？ 企業、商工課の担当者への負担に対して、得られる効果は小さいのではないのでしょうか？	「飛騨市就職奨励金を活用した地元企業就職者の数」に技能実習生の数は含まれておりません。 なお、技能実習生等を対象とした「飛騨市外国人技能実習生等就職奨励金」につきましては、市内で就労や実習を行う外国人等に対して経済的支援を目的に交付しており、飛騨市での就労や実習等に対して好印象をもって頂き、将来的に就業地として選んでもらいたいと希望するものです。数年後に帰国するケースが高い技能実習生に対する奨励金支給に反対のご意見につきましては、市職員の負担は別として、企業側の負担増やメリットがない部分につきましては、今後、外国人を受け入れてみえる事業者様のご意見等を聞かせて頂き、検討させていただきます。	②計画には反映しませんが、計画推進へのご提案として参考にさせていただきます
4	財政課	財政運営	34	ふるさと納税寄付金について これまで寄付額から減少を見込んで計画を立てるのはとても素晴らしいと思ました。 10億円を見込むとのことですが、それを超過する寄付があった場合、どのように活用するのでしょうか？	皆様からいただいたご寄附は、経費50%分を除いて基金積立（貯金）します。それを翌年度に市が実施するソフト事業の財源として有効に活用させていただきますが、寄附者の意向に沿った事業内容とすることが可よりも大切であると考えています。ご寄附が多くなればなるほど、より充実したソフト事業を展開することが可能となります。	②計画には反映しませんが、計画推進へのご提案として参考にさせていただきます

NO	担当課	内容	指針該当ページ	意見・提案・質問	市の考え方	対応（案）
5	建築住宅課	公共施設の管理運営	37	公共施設の運営を廃止を含めて検討していくのは良いことだと思います。維持費や修繕費で判断するのも良いと思うのですが、過去5年の維持費というのはそれだけ赤字がでているということなのでしょうか？もしそうであれば、宿泊施設などは民間への譲渡など、早めに判断していった方がいいのではと思いました。	行政サービスである公共施設の維持費を単純に赤字と考えることもできませんが、市の財政的負担であることは間違いなく、できるだけ早期に改善を図りたいと考えております。	②計画には反映ませんが、計画推進へのご提案として参考にさせていただきます
6	人事課	定員適正化計画	42	育児休業取得者が増加とのこと。 先日NHKで飛騨地域の育児休業取得者は14.3%で岐阜県内最低、とのニュースを見ました。市役所の方だけでも積極的に取得してほしいと思います。	これまで当市においては育児休業取得者は女性がほとんどでしたが、近年は男性の取得者も増えてきています。引続き育児休業が取得しやすい職場環境整備に努めてまいります。	②計画には反映ませんが、計画推進へのご提案として参考にさせていただきます
7	地域包括ケア課	政策の方向性	60	市外医療機関との連携。 飛騨市には出産のできる病院がありません。高山市の病院まで通院する必要があります。出産に限らずですが、飛騨地域全体で医療体制の連携強化に取り組んでいただけることを願っています。	現在、飛騨3市1村及び高山赤十字病院、久美愛厚生病院、県立下呂温泉病院、飛騨市民病院の代表者の協議により、飛騨圏域において今後必要とされる高度急性期から慢性期に至るまでの医療提供体制を構築維持するために、圏域全体の医療機関、特に公立及び公的医療機関の機能分化、役割分担を明確化し、その連携体制強化を進めることで合意形成されました。 この構想実現のために、圏域内行政と医療機関、関係団体が協議、協力を推進する事務局機能の構築を高山市を中心に準備し始めたところです。	②計画には反映ませんが、計画推進へのご提案として参考にさせていただきます
8	子育て応援課	政策の方向性	65	子育て支援の経済的負担について。 子育てと仕事の両立は難しいと思います。また、ワンオペ育児となっている方も多いと思われます。 今は、核家族化や祖父母たちも現役で仕事をされている方も増えてきているので祖父母の手を借りるということも難しくなっている可能性があります。「誰かの手を借りたい」「人手が足りない」そんなときにベビーシッターを利用していただきたいと思っています。 しかし、ベビーシッター費用は1500円/時間前後が相場です。それでも利用したいという方もいますが、やはりそれはかなり少数です。産後や子育て世帯のサポートとして市の方から紹介されることもあるみたいですが、経済的に難しいという方がほとんどだそうです。 そこで、医療的ケア児を対象としたタイムケア事業のような子どもを育てる家庭が誰でも利用できる助成金制度を作っただけだと嬉しく思います。子どもを持つ家庭からは「こういうの（自宅でのシッターサービス）があるのなら利用したい」という声は聞きます。市として、ベビーシッターに対する助成があればもっと気軽に利用する親御さんが増え、子育てしやすい環境を作れるのではないかと考えています。「相談」の場を増やすことも大切ではありますが、実際に必要なのは現場（自宅）での支援だと思います。ご検討よろしくお願いたします。	ご指摘の通り、飛騨市では医療的ケア児のタイムケア補助金が事業化され、介助者のレスパイトを支援しています。 一方で、医療的ケアが必要ない子どもについては、ファミリーサポートセンター事業で500円/Hから託児が可能であり、利用目的を問わず利用可能です。ファミサポ事業はR5年度には延べ400人、1,400時間を超える利用があり気軽に利用いただいていると認識しております。 こうした現状から、子育て世帯のレスパイト支援は充足していると認識しており、現時点ではベビーシッターへの助成については検討しておりません。	②計画には反映ませんが、計画推進へのご提案として参考にさせていただきます